

令和8年度 江戸川区立篠崎第四小学校 人権教育 年間指導計画（第6学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。		他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認めることを中心とした指導			
各教科・読書科	国語「つないでつないで、一つのお話」 進んで話の内容を捉えながら相手の話を聞き、お話作りに取り組む。	社会「江戸幕府の政治」 戦国の世が統一され、身分制度が確立したことや、差別された人々がいたことを知り、理解を深める。 『アイヌの人々』	保健「病気の予防」 病原体が主な原因となって起こる病気の予防方法を知るとともに、やその感染者に対する理解を深める。	社会「江戸の文化と新しい学問」 伊能忠敬について知るとともに、虎松の祖父が解剖を手伝ったことから、蘭学の発展の裏には差別された人々の働きや知識があったことを知る。 『同和問題』	社会「世界に歩みだした日本」 人々の民主主義への意識が高まり、普通選挙や女性の地位向上、差別撤廃を目指す運動が起こったことについて理解する。 『女性』『同和問題』『外国人』	理科「生物とその環境」 食物連鎖や水・空気の循環などから、生命を尊重したり環境を保全したりする態度を養う。	国語「海の命」 それぞれの人物の生き方に対する考えを話し合う。意見や感想を伝え合いを通して、自分の考えを広げる。				
特別の教科 道徳	公正・公平、正義 いじめに対する考えを深め、だれに対しても差別や偏見をもつことなく公正、公平の大切さを自覚し、社会正義の実現に努めようとする気持ちを育てる。『子供』	生命尊重 生命がかけがえないものであることを知り、生きている幸せを感じて精一杯生きていこうとする態度を育てる。	希望、勇気 生命の尊さを考え、たとえどんな苦難に直面しても、生きることのすばらしさを胸に、強く生き抜こうとする態度を養う。	友情・信頼 友達同士の相互の信頼のもと、互いに磨きあひ高め合うような真の友情を認識し、それを大切にする気持ちを育てる。	国際理解、親善 世界の中で日本と日本人の置かれている立場を知り、世界の人々や文化と積極的に関わろうという意欲を育てる。『外国人』	思いやり・親切 思いやりの心を持ち、よく考え、相手の立場に立って接しようとする心情を育てる。	向上心、個性伸長 自分には自分らしいすばらしい力があることに気づき、その力を伸ばそうとする心情を育てる。				
総合的な学習の時間	めざせ！日光移動教室 日光移動教室で行く地域についての調べ学習を行い、その地域の特徴や環境、歴史について理解を深める。					日本と世界の文化を調べよう 日本や世界の文化について調べ活動を行い、国際理解につなげると共に、日本と異なる習慣や文化をもつ人々への差別や偏見の解消について考える。 『外国人』					
特別活動	なかよし班ロング集会 縦割り班で遊び、交流を深める。										
	クラブ・委員会活動					なかよし班遊び よりよい人間関係を築く態度を養う。					
その他	ふれあい月間		ふれあい月間		ふれあい月間		おはなし隊（保護者ボランティア）による読み聞かせ				

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。